



身延清稜小だより

令和5年1月20日
身延町立身延清稜小学校
TEL0556-42-2520
校長 小林 初音

～3学期スタート！充実した52日間に！～

令和5年は卯年です。始業式の中で子どもたちにこんな話をしました。「うさぎは穏やかで温厚な性質であることから、『安全』とか『平和』という言葉が思い出されます。今年、コロナウイルス感染症やロシアとウクライナなどの戦争が終わり、安全で平和な年になるよう願っています。また、うさぎはぴょんぴょんと高く跳ねることから飛躍する年とも言われます。皆さんはこの3学期が終わるとそれぞれ学年が1つずつ上がります。大きくジャンプすることができるように、今日からの3学期を、1日1日大切に友達と一緒にがんばっていきましょう。」私の言葉に、背筋をぴんと伸ばし「はい！」と返事をしてくれた子どもたちです。その目の輝きに、一人一人が希望をもって、新しい年のスタートを切ることができた様子を嬉しく思いました。充実した3学期となるよう、職員一同、日々努力して参りたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様、3学期も本校教育へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



～3学期始業式 背筋をぴんと伸ばして～

～3学期学級役員・選挙管理委員 認証式～

朝の活動の時間、3年生以上の3学期学級役員認証式を行いました。今年度のしめくくりの3学期です。学級役員としてクラスをリードし、どの学年も有終の美を飾ることができるよう、充実した3学期にしてほしいと願っています。また、合わせて児童会役員選挙の選挙管理委員認証式も行いました。来年度の児童会役員を決める大切な選挙が充実したものになるよう、取り組みを進めていってほしいと思います。



児童会役員選挙 立候補受付の様子

～スキー教室～

3学期始業式の翌日、4,5,6年生のスキー教室が、サンメドウズ清里スキー場で行われました。風もなく穏やかな天候で、雪のコンディションもよく、インストラクターの先生の指導のもと、みんなぐんぐん上達したようでした。帰ってきた子どもたちは口々に「楽しかった！」と報告してくれました。保護者の皆様には、スキー教室に向けての様々な準備をありがとうございました。



～日本の文化を知り親しむ～

グローバル化する社会の中、子どもたちに広く国際社会で活躍できる力を育てていくことはとても大切です。そのためには、まず、自分の国の文化を知り、親しみ、その良さを感じ、継承していこうという姿勢を育てていくことが大切だと考えます。日本人として、日本の文化に誇りを持ち、大切に思うからこそ、他国の文化を尊重し大切に思える子どもを育てていきたいと思えます。

～書きぞめ～

『書きぞめ』は古くから日本で行われてきた伝統的な年中行事の1つです。新年を祝い、目標が叶うようにと願いを込めて言葉をしたためる行事です。身延清稜小では、1月13日に校内書きぞめ大会を行いました。どの学年でも、しんとした静寂な雰囲気の中、子どもたちが冬休み中の練習の成果を発揮しようと、集中して取り組んでいました。また、6年生は卒業に向け、講師の先生をお招きして条幅の指導をしていただきました。『不撓不屈』『一念発起』など、それぞれが選んだ四文字熟語に取り組みました。体育館いっぱいに広がり、体全体を使って条幅用紙に向かう6年生の姿は壮観でした。



～琴の演奏 鑑賞・体験～

12月には、講師の先生方3名をお迎えし、全校児童で琴の演奏を鑑賞しました。曲目は『さくら』

『お江戸日本橋』『六段』『千本桜』などです。身延清稜小の校歌も演奏していただき、一緒に歌いました。体育館いっぱいに響いた琴の凜とした音色は、私たちの心を穏やかに豊かにしてくれました。子どもたちも夢中で聴き入っていました。その後、4年生は琴の演奏の仕方を教えていただき、最後には4人で『さくら』を演奏することができました。改めて琴の音色の美しさや和楽器の良さ、日本の文化の素晴らしさを感じることができました。



～わらべ歌 『おちゃらかほい!』～

「せっせっせーのよいよいよい! おちゃらかおちゃらか…」と、音楽の時間5人で丸くなって『おちゃらかほい』をしていました。自分の幼い頃を思い出してみると、日本のわらべ歌や童謡を口ずさんだり、友達と手遊びをしたりして楽しんだことが懐かしくよみがえってきます。最近では、テレビなどでわらべ歌を耳にする機会は昔に比べ少なくなりました。

これもまた日本の大切な文化として、子どもたちにもっともっと伝えていけたらいいなと考えています。

1年生の教室から楽しそうな歌声が…
思わず教室をのぞきにいってみる

